



# 「平成20年度全国学力・学習状況調査」 結果公表に関する保護者説明会



## 次 第

- I 全国学力・学習状況調査の目的  
調査内容等について
- II 文部科学省の考え方について
- III 大阪府教育委員会の要請内容及び  
豊中市教育委員会事務局の考え方について
- IV 豊中市の具体的な取組み紹介  
(児童生徒が学びを高める実践例)

# I 全国学力・学習状況調査の 目的、調査内容等について

## 調査の目的（実施要領より）

- ①国が、教育の成果と課題を検証し改善を図ること。
- ②教育委員会や学校が、検証改善サイクルを確立すること。
- ③学校が、児童生徒の学力や学習状況を把握し、教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

## 調査対象と調査内容

調査…「教科に関する調査」と「質問紙調査」

### ■「対象学年」

小学校第6年、中学校第3年

### ■「教科に関する調査」

小学校…国語・算数

中学校…国語・数学

### ■「児童生徒質問紙調査」

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問



## 教科に関する調査

- 調査A: 主として「知識」に関する問題

- \* 身につけておかなければならない内容
- \* 活用できることが望ましい知識・技能

- 調査B: 主として「活用」に関する問題

- \* 知識・技能を活用する力
- \* 課題解決のために必要な力



## 個人票の返却

8月  
29日

文部科学省から各学校へ調査結果と個人票の提供。

9月  
16日~  
19日

個人票の返却。

# 個人票

平成20年度  
全国学力・学習状況調査【中学校】調査結果

学校名	組	番号	答案番号	氏名

## 国語A

●出題内容  
国語では、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、そして「言語」に関する内容について学習します。  
国語Aは、これらについて、必要な学習内容を理解し、確実に身に付けているかどうかを見る基礎的・基本的な問題を出題しています。

●全国の状況(正答数ごとの生徒の割合)

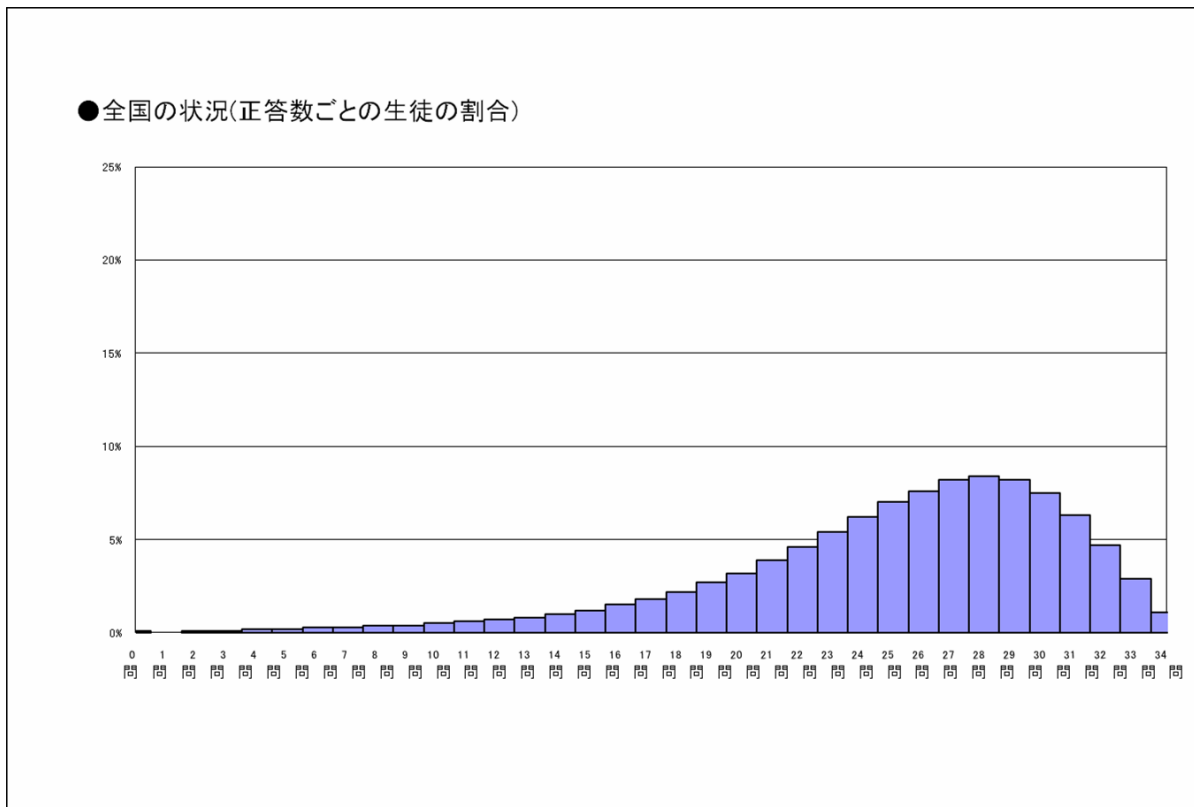
設問番号	問題の概要	聞話 くす こと	書 く こと	読 む こと	言 語 事 項	問題 形式	結果	全国の 正答率
1	一 話し合いの一部を読み、発言の仕方の良い点の説明として適切なものを選ぶ	★				選択	○	62.2
	二ア 話し合いの方向をとらえた司会の適切な発言を選ぶ	★				選択	○	80.8
2	一 虎 故事とその解説を読み、「虎」にとえられている人物を選ぶ			★		選択	×	64.8
	一 狐 故事とその解説を読み、「狐」にとえられている人物を選ぶ			★		選択	○	59.5
	二 たとえ話をふまえ、故事成語「虎の威を借る狐」の意味として適切なものを選ぶ			★		選択	—	78.3

正答数 選択 10 / 21 問 短答 9 / 13 問 全体 19 / 34 問

話すこと・聞くこと 4 / 5 問 書くこと 1 / 2 問 読むこと 5 / 9 問 言語事項 9 / 18 問

○:正答、×:誤答、—:無回答

# 個人票(全国の状況)



## 個人票(個人の結果等)

設問 番号	問題の概要	聞 話 す こ と	書 く こ と	読 む こ と	言 語 事 項	問題 形式	結果	全国の 正答率
1	一 話し合いの一部を読み、発言の仕方の良い点の説明として適切なものを選ぶ	★				選択	○	62.2
	二ア 話し合いの方向をとらえた司会の適切な発言を選ぶ	★				選択	○	80.8
	二イ 話し合いの方向をとらえた司会の適切な発言を選ぶ	★				選択	○	92.9
2	一虎 故事とその解説を読み、「虎」にたとえられている人物を選ぶ			★		選択	×	64.8
	一狐 故事とその解説を読み、「狐」にたとえられている人物を選ぶ			★		選択	○	59.5
	二 たとえ話をふまえ、故事成語「虎の威を借る狐」の意味として適切なものを選ぶ			★		選択	—	78.3

⋮

6	ハア 「竹取物語」の冒頭部分の文章に句点をつける			★		短答	○	87.5
	ハイ① 歴史的仮名遣いを現代仮名	いふ		★		短答	○	92.1
	ハイ② 遣いに直す	ゐたり		★		短答	○	82.0

## 個人票(個人の結果)

6	ハア 「竹取物語」の冒頭部分の文章に句点をつける			★		短答	○	87.5
	ハイ① 歴史的仮名遣いを現代仮名	いふ		★		短答	○	92.1
	ハイ② 遣いに直す	ゐたり		★		短答	○	82.0

正答数 選択 10 / 21 問 短答 9 / 13 問 全体 19 / 34 問

話すこと・聞くこと 4 / 5問 書くこと 1 / 2問 読むこと 5 / 9問 言語事項 9/18問

# 小中学校（公立）学力テストの結果

小学校						中学校		
国語	順位	算数	順位	合計	順位		国語	順位
106.9	46(45)	114.1	46(46)	221.0	46(46)	北海道	131.7	46(46)
125.8	3(4)	131.0	4(4)	256.8	3(4)	青森	137.0	1(1)
121.1	8(5)	125.7	11(14)	246.8	10(10)	岩手	134.9	2(2)
113.4	33(34)	121.7	36(40)	235.1	34(36)	宮城	135.6	11(11)
137.3	1(1)	139.6	1(1)	276.9	1(1)	秋田	145.4	2(2)
110.1	42(36)	120.7	39(37)	230.8	41(39)	滋賀	132.1	39(39)
122.1	7(14)	128.6	7(6)	250.7	7(6)	京都	134.5	7(6)
109.7	45(45)	121.1	38(45)	230.8	41(45)	大阪	125.7	45(45)
116.9	21(26)	125.2	14(18)	242.1	17(23)	兵庫	132.9	17(23)

## II 文部科学省の考え方について

### 調査結果について(実施要領より)

- 本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争につながらないように十分配慮して、適切に取り扱うものとする。

## 公表にあたって配慮すべき点

市町村教育委員会が、保護者等に対して説明責任を果たすため、当該市町村における公立学校全体の結果を公表することについては、それぞれの判断にゆだねること。

ただし、本調査により測定できる学力は特定の一部分であること、学校の教育活動の取組の状況や調査結果の分析や方策等を踏まえるなど、序列化につながらない取組が必要と考えられること。

### Ⅲ大阪府教育委員会の要請内容及び

#### 豊中市教育委員会事務局の考え方について

##### 大阪府教育委員会の要請内容

- 大阪府教育委員会から市町村教育委員会教育長に対して、全国学力・学習状況調査結果公表に、平均正答率に児童生徒質問紙調査の分析結果も含めて公表するよう要請（9月10日）がなされた。



## 豊中市教育委員会事務局における検討

「全国学力・学習状況調査に関する検討委員会」



### 検討・議論

- ①文部科学省が策定した全国学力・学習状況調査に関する実施要領における調査目的を図るため、調査結果の取扱い等について。
- ②本調査結果の公表などのあり方について。



## 豊中市教育委員会事務局の考え方

- ①調査結果分析にあたっては、昨年度との経年比較も踏まえ、改善点や課題、その要因等を検証し、今後の施策推進の一助とする。
- ②学校間の序列化や過度の競争につながる恐れのある、個々の学校名を明らかにした公表は行わない。学校に対しても同様の指示を行う。
- ③結果公表は、自治体間や学校間の比較ではなく課題を発見し、改善することがこの調査の目的であることから、文章等による説明を行う。



## 平成 19 年度 (2007 年度) 豊中市の分析結果概要<中学校国語>

調査 A (主として知識に関する問題)	調査 B (主として活用に関する問題)
<p><b>&lt;正答数分布&gt;</b></p> <p>・総問題数 37 問中正答数 35 問を頂点とする山型を描いており、裾野はなだらかな広がりとなっている。正答率は高く、多くの生徒が今回出題された学習内容を概ね理解している。</p>	<p>・総問題数 10 問中正答数 9 問を頂点とするなだらかな山型を描いており、調査 A に比べて拡散傾向が大きく、正答数の少ない層が厚いことが課題である。</p>
<p><b>&lt;領域・観点・問題形式別&gt;</b></p> <p>・「話すこと・聞くこと」(「話す・聞く能力」)は、良好である。また、「言語事項」(「言語についての知識・理解・技能」)についても良好である。一方で、「書くこと」(「書く能力」)と「記述式」には課題がある。</p>	<p>・「話すこと・聞くこと」(「話す・聞く能力」)については良好である。一方で、「書くこと」(「書く能力」)や「記述式」の問題には課題がある。また、「読む能力」や「言語についての知識・理解・技能」については、活用能力に課題がある。</p>
<p><b>&lt;領域別の傾向&gt;</b></p> <p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>・聞き手を意識して分かりやすい言葉を選んだり、話を聞いてメモを取る際に不足している情報を適切な表現で話し手に確かめたりすることは、多くの生徒ができています。</p>	<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>・調べたことを発表する際に、話す内容に応じて適切な資料を提示することは、概ねできています。</p> <p>【書くこと】</p>

## 教育委員会会議における検討

9月17日  
教育委員会  
会議

9月22日  
臨時教育委員会  
会議

10月8日～15日  
保護者説明会

## IV豊中市の具体的な取組み紹介 (児童生徒が学びを高める実践例)

- 1)「確かな学力」向上推進事業
- 2)校内LAN推進事業
- 3)小中一貫教育推進事業
- 4)中学校少人数学級事業
- 5)中学校読書活動推進事業

### 1)「確かな学力」向上推進事業



## 2) 校内LAN推進事業



## 3) 小中一貫教育推進事業



#### 4) 中学校少人数数学級事業



#### 5) 中学校読書活動推進事業



子どもたちが真摯な姿勢で取り組んだ結果、  
得られた今回の調査結果を活かして  
施策の充実に努めてまいります。

